

令和6年度学校評価

本年度の 重点目標	1 規範意識の高揚 生活指導・道徳教育の充実 2 学習習慣の確立 学習指導の充実、授業改善の推進 3 環境の美化 学校環境の充実 4 職員の多忙化解消		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
管 理 職	1 教職員の多忙化解消 2 教職員の勤務時間の減少	1 分掌主任及び学年主任を副担任に配置することにより、各学年の組織力の向上を目指す。 2 普段は19時30分、定時退校日は17時30分の施錠を目指す。	1 日頃から職員同士の会話を大切にす。 2 勤務時間が長くなる教職員に対して、学年・分掌で分担できるよう声掛けをする。
教 務 部	1 基礎学力の定着 2 観点別評価の検証	1 授業研修期間やその他の機会を利用して授業改善を行う。また、成績不振者に対する指導の充実を図る。 2 指導と評価の一体化のために観点別評価を活用する。	1 成績不振者に対する指導を、長期休業の初期に行う。 2 評価・評定の算出方法についても検討する。
総 務 部	1 確実な情報の発信 2 創立50周年記念式典に向けた基盤づくり 3 PTAや同窓会との綿密な連携	1 在校生保護者に向けた情報伝達を強化する。特に、奨学金関連の連絡を確実にする。 2 儀式的行事における生徒の自主性を育成する。 3 創立50周年記念式典の準備年度として、PTAおよび同窓会と綿密に連携を図る。	1 きずなネットやホームページを活用する。 2 式典でのピアノ伴奏を生徒から募るなど、生徒が活躍する場面を増やす。 3 教職員にも周知することで、全体で取り組む体制を整える。
生徒指導部	1 基本的な生活習慣の確立 2 学校安全の推進（交通事故の減少、情報モラルの向上） 3 生徒指導規定の見直し	1 事前の注意喚起の充実、遅刻に対する情報共有及び早期の対応を行う。 2 交通事故の防止、情報モラルの向上など、わかりやすい啓発方法を工夫する。 3 定期的に生徒会執行部との意見交換を実施することで生徒の意見を取り入れた形で検討する。	1 時間を守り、基本的な生活習慣が身につくような様々な場面で指導する。 2 掲示物やプリント等で啓発活動を行う。情報モラルについては、使用マナーも含めた指導をする。 3 研修会などを通じて様々な立場からの考え方や意見の収集に努める。
進路指導部	1 進路情報の積極的な発信と進路資料室の利用促進 2 進学希望者に対する受験に対応できる学力の育成 3 就職希望者に対するきめ細かく計画的な指導の継承	1 時期に応じた「進路だより」を発行し、生徒へ情報を提供する。また、進路資料室の書籍の拡充を図り、利用を促す。 2 学年会と連絡を密に行い、補習の受講者の増加に努める。また、外部模試の受験等、進学に向けた準備に取り組む意識を高めさせる。 3 就職担当者の変更に伴う業務の継承を旧担当者として新担当者で連携し、これまでの指導の質を継続、深化させる。	1 生徒だけではなく、教員や保護者にも情報を周知できるように、きずなネットを活用する。 2 教員間で生徒の進路希望情報を共有し、指導の一助とする。 3 分掌会で進捗状況を共有する。

保健部	<p>1 健康課題の早期発見、早期対応</p> <p>2 生徒主体の美化・保健活動の推進</p> <p>3 生徒自身の問題解決力の成長を促す相談活動の実施</p>	<p>1 朝のST時、健康観察を確実に実施する。観察結果を学年会等へフィードバックし、職員全体で健康観察を行う。</p> <p>2 清掃道具を整備し、生徒の清掃に取り組む意識を高める。委員会活動を活性化させ、生徒主体で校内美化を図る取り組みを実施する。</p> <p>3 各々の相談事案に対して丁寧に情報共有、連携しながら相談活動を行う。また、外部機関との連携、協働を図り、生徒自身で問題を解決できるようサポートする。</p>	<p>1 時宜を得た観察結果の把握・情報の共有に努める。</p> <p>2 美化・保健委員会を定期的に開催し、生徒主体で美化・保健活動を行えるようにする。</p> <p>3 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、相談室についての広報活動を行う。また、外部との情報共有にあたっては、守秘義務や情報の取り扱いに十分留意した上で対応する。</p>
生徒会部	<p>1 生徒の主体的な活動による自主的・実践的な態度の育成</p> <p>2 学校行事や部活動における安全配慮</p>	<p>1 委員会活動、ホームルーム、部活動を通じて生徒が集団や社会に参加できる場を設定する。生徒会執行部が中心となり、委員会が主体的に立案し意見交換するなど考えを深められるようにする。</p> <p>2 熱中症など、生徒の安全に十分考慮する。生徒と職員で課題を見つけ出し改善して、部活動や学校運営に努める。</p>	<p>1 各委員会活動を定期的に開催し、生徒の意見を反映できるようにする。生徒会執行部との話し合いを行う。</p> <p>2 熱中症の予防を促し、学校行事や部活動を円滑に進める。</p>
図書部	<p>1 学習・資料センターとして快適に利用できる環境作り</p> <p>2 探究的な学びにつながる図書館利用の促進</p>	<p>1 図書選定、広報活動、環境整備を展開し、資料や環境の充実・整備を進める。</p> <p>2 新入生への図書館オリエンテーションおよび図書委員会を活用した図書館資料の紹介等の活動を行う。また、各学年と連携して総合的な探究の時間等を活用しつつ、より深い学びのための図書館利用を促す。</p>	<p>1 幅広い教養を身に付けることを重視した図書選定を行うと共に、適切な蔵書管理に努める。</p> <p>2 図書委員会を中心とし、生徒主体の活動の活性化を図る。各学年と連携を密にし、学習段階に応じた探究的な学びの実現に努める。</p>
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		管理職、教務部、総務部、生徒指導部、進路指導部、保健部、生徒会部、図書部	